橘学苑グランドデザイン 2026

- 挨拶（理事長・学苑長・園長）
- 沿革
- 土光登美年譜　土光敏夫年譜
- 橘学苑の教育
- 中学校・高等学校の改革
- 幼稚園の改革
- 基盤の改革
- 財務シミュレーション
- 橘学苑の歌

テーマ

学ぶよろこび　教えるよろこび

理事長挨拶

『学ぶよろこび、教えるよろこび』を基本理念として 2024 年に始動いたしました「学校法人橘学苑 2025 年改革」は、本年で二年の節目を迎えました。この間、教職員の皆様が真摯に改革へ取り組んでくださった結果、2024 年度・2025 年度ともに計画を上回る成果を挙げることができました。ここに深く敬意を表し、心より感謝申し上げます。

こうした実績を踏まえ、本学苑は、急速に変化する社会情勢を的確に見据えつつ、改革の理念はそのままに、新たな指針として『橘学苑グランドデザイン 2026』を策定いたしました。

改革に終わりはありません。組織としても個人としても、良き伝統を大切に継承しながら、進取の精神をもって課題に向き合い、不断の自助努力を重ねていくことが求められます。「選ばれる学苑」「社会に必要とされる学苑」の実現に向け、教職員一同が力を合わせ、着実に歩みを進めてまいりたいと存じます。



今後とも、本学苑の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

理事長　池上　幸保

……

学苑長挨拶

「学校法人橘学苑 2025 年改革」は、いよいよ 2024 年度より募集を停止していた中学校を再開するという佳境に入ってきました。2027 年度から募集を開始し、2028 年 4 月から新中学生が入学します。これを機に組織体制を一新し、2031 年完全中高一貫の学校を目指し再出発しますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



学苑長　外西　俊一郎

（兼務：副理事長、中学校・高等学校校長）

……

園長挨拶

橘幼稚園は、「子どもが、子どもらしくある」ことを大切に、遊びや自然とのふれあいを通して、豊かな心と生きる力を育んでいます。国の子ども・子育て支援新制度や社会の変化を踏まえ、2026 年度より 2 歳児の受入れを開始しました。 4 学年制の充実と教育環境の整備を進め、一人ひとりの育ちを支えてまいります。今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



幼稚園　園長　三上　正芳

沿革

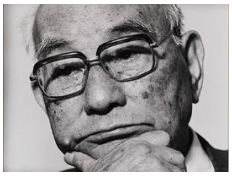
社会	
1941	太平洋戦争勃発　真珠湾攻撃
1942	翼賛選挙
	関門鉄道トンネル
1945	終戦の玉音放送
	ベルリン陥落
	ポツダム会談
1946	昭和天皇の「地方巡幸」はじまる
	新円切り替え
1947	学校給食はじまる
	6・3・3 制、男女共学はじまる
1951	サンフランシスコ講和条約署名
1957	スプートニク 1 号打ち上げ
1960	岸内閣「新安保条約」調印
1961	東洋の魔女
	ソ連が人類初の有人宇宙飛行に成功
1965	日韓基本条約調印
1968	メキシコ五輪
	東名高速道路開通
1974	佐藤元首相「ノーベル平和賞」受賞
1979	大学共通一次試験開始
1981	第 2 次臨時行政調査会発足
	土光敏夫会長
1987	国鉄分割民営化で JR に
1992	PKO 協力法成立、自衛隊派遣
2003	米スペースシャトル空中分解事故
2004	アテネ五輪
	新潟県中越地震
	イチロー大リーグ最多安打記録
2006	ブログ普及
2017	天皇陛下「生前退位」正式決定
2018	平昌五輪
2021	東京五輪

本学苑	
1942	橘女学校創立　校主土光登美
	校舎落成
1945	財団法人橘学苑設立
	土光登美理事長
	土光登美急逝　土光敏夫理事長就任
1946	橘高等女学校へ組織変更
	第一期生卒業
1947	私立橘中学校併設
	橘女子高等学校へ昇格
1951	学校法人橘学苑へ組織変更
1957	体育館完成
1960	学苑歌完成
1961	土光登美訓詞碑
	「正しきものは強くあれ」建立
1965	鉄筋 3 階建本館完成（現 1 号館）
1968	定時制高等学校併設
	鉄筋 3 階建新館完成
1974	附属幼稚園併設
1979	定時制高等学校休校
1981	生活の時間（4 単位）実施
1986	総合の時間（6 単位）実施
1987	音楽堂完成　創作館完成
1992	創立 50 周年
2003	SAKURA DOME 完成
2004	地上 5 階地下 1 階建 2 号館完成
	橘学苑中学校・高等学校へ改称
	中学男女共学・高校コース制導入
2006	全面男女共学化
2017	創立 75 周年記念式典
2018	1 号館リニューアル
2026	土光敏夫生誕 130 年記念事業



土光登美　年譜

1871		岡山県御津郡　伏見義三郎・幾濃の次女として誕生
1882	10 歳	小学校卒業
1885	13 歳	裁縫学校卒業
1889	18 歳	土光菊次郎と結婚
1895	23 歳	長男英太誕生(1 年で死亡)
1896	25 歳	次男敏夫誕生
1899	27 歳	三男義三郎誕生
1901	30 歳	長女満寿子誕生
1905	33 歳	次女節子誕生
1911	39 歳	三女美子誕生
1925	54 歳	東京市赤坂区青山に転居
1929	57 歳	立正婦人会常任幹事
1932	60 歳	まこと会会長
1939	67 歳	金婚式
1940	69 歳	菊次郎逝去(享年 69 歳)
1941	69 歳	横浜市鶴見区北寺尾に転居
1942	70 歳	橘女学校創立 校主 土光登美
1945	73 歳	逝去



土光敏夫　年譜

1896		岡山県御津郡　土光菊次郎・登美の次男として誕生
1920	23 歳	東京高等工業学校卒業 東京石川島造船所に就職
1925	29 歳	長男陽一郎誕生
1927	31 歳	長女禮子誕生
1931	35 歳	次女紀子誕生
1934	37 歳	次男哲夫誕生
1938	42 歳	三女立子誕生
1945	48 歳	財団法人橘学苑第 2 代理事長
1946	49 歳	石川島芝浦タービン社長
1948	51 歳	私立橘中学校・橘女子高等学校第四代校長(S33 まで)
1950	53 歳	石川島重工業社長
1960	63 歳	石川島播磨重工業(IHI)初代社長
1964	68 歳	石川島播磨重工業(IHI)会長
1965	68 歳	東芝社長
1972	75 歳	東芝会長
1974	78 歳	第 4 代経団連会長
1981	84 歳	第 2 次臨時行政調査会会長
1983	86 歳	第 1 次臨時行政改革推進審議会会長
1986	89 歳	勲一等旭日桐花大綬章受章
1988	91 歳	逝去

橘学苑の教育

正しきものは強くあれ

校主土光登美は、「国滅びるのは悪によらずして、その愚による」と、戦争という時代の中で日本の将来に思いを馳せました。そして、平和で新しい社会を創るためには、目先のことにとらわれずにしっかりとした信念をもち、正しい考え方をする女性を育てなければならない、さもなくば日本の将来は危ういとの考えのもと、周囲の反対や幾多の困難を乗り越え、わが身を厭うことなく、法華経の教えを柱として学苑を創立しました。

【創立の精神】

一　心すなおに真実を求めよう
一　生命の貴さを自覚し、明日の社会を築くよろこびを人々とともにしよう
一　正しく強く生きよう

本校の教育の原点はその創立の精神にあり、"社会が発展し複雑化していく中で、人間がしっかりと社会をつくっていかなければ、人間が社会の犠牲になってしまう。人間は学問知識を身につけ、人間性を高めていかなければいけない"という思いは現在も受け継がれ、豊かな人間性の育成にしっかりと反映されています。

本校の教育の基本的な考え（家庭教育と学校教育）

本校では、子どもの成長には保護者と教職員が協力して責任をもつことが重要であると考えています。そのためには、家庭と学校の役割を明確にすることが大切です。

家庭では、子どもの行動や礼儀作法、規律をしっかりと教えていただくことが求められます。この「躾」には、社会生活において他者と円滑なコミュニケーションを図るためのスキルや自己管理能力が含まれます。

一方、学校は基礎学力や教養を身につけ、他者との協働を通じて人格形成の土台を築く場です。特に本校では、すべての教育活動において、「生きる力」と「学ぶ喜び」を育むことに重きを置いています。

橘学苑は、家庭と学校が信頼し合い、お互いの役割を果たしつつ連携することで、子どもたちの成長をより一層効果的に支援できると信じています。

中学校・高等学校の改革　教育目標：自立　共生　創造

テーマ	1-1　高校教育改革
内容	多様な進路実現のできる進学校をめざす
課題	○　自律的な人間の育成 ✧　原点回帰。創立の精神に立ち返り、その理念を教育課程に具現化する。 ・５つの柱（人間教育、教科教育、探究教育、国際理解教育、キャリア教育） ・高等教育や社会で対応できる「確かな学力」と「生きる力」を育む。 ○　魅力ある学校づくり ✧　授業改革（主体的・対話的で深い学びの追求、魅力ある授業づくりの追求） ✧　生徒の自治活動の強化（行事・楽しめる活動等） ○　論理力の育成 ✧　生徒がすべての教育活動において、物事の因果関係を整理し、順序立てて考えることで、「書く力」と「話す力」を身につけるようにする。 ○　英検対策 ✧　英検指導を強化し、生徒全員が英検準２級を取得できるようにする。

テーマ	1-2　受験学力だけではない学びの展開
内容	探究活動の充実
課題	○　総合的な探究の時間の発展 ✧　探究学習から探究活動へ　～問いから始まる主体的な学び～ ○　土曜ゼミナール、土曜教養ゼミナール、課外活動、部活動、１年留学等 ✧　探究学習を通じて、生徒が主体的にそれぞれの活動に参加するようにする。 ※　特に、土曜ゼミナールや土曜教養ゼミナールは、生徒が本物に触れることで、幅広い教養や見識を広め、モチベーションを高め、自分の進路について深く考える機会となるようにする。

テーマ	1-3　高校入試改革
内容	受験生のレベルアップをはかりつつ、安定的に定員確保をめざす
課題	○　広報活動の強化 ○　特待生制度を制度化する ○　公立中学校・塾・地域との関係づくり ✧　計画的に訪問し、本校の教育の成果を周知する。

テーマ	1-4　進路改革
内容	進学率・進学実績をあげる
課題	○　３年以内に GMARCH２５％以上、日東駒専３０％以上を安定して出す。 ○　総合型選抜を活用しつつ、一般選抜でも合格できる「学力」を身につけられるようにする。 ○　新たな高大連携校の設置および指定校の獲得

テーマ	1-5　中学校募集再開
内容	令和１０年度（２０２８年度）に再開する
課題	○　教育方針の確定 ○　教育課程およびカリキュラムの確定 ○　施設と設備の充実 ○　広報活動の強化 ✧　評判と信頼の構築 ✧　ブランド力を高める

幼稚園の改革　　教育目標：生涯にわたる人格形成の基礎を培う

テーマ	2-1　「子どもが、子どもらしくある」保育の充実
内容	保育の質を高め、時代に沿った保育の検討と実践
課題	○　4 学年制による保育の充実 ✧　令和 8 年度より 2 歳児を含む 4 学年制を開始。各年齢の発達に応じた保育体制の充実を図る。 ✧　乳幼児の発達と成長を踏まえた保育内容の充実を図る。 ○　低年齢児への子育て支援の充実 ✧　横浜市の制度を踏まえ、満 2 歳児の受け入れを検討する。 ✧　1 歳児を対象とした週 1 回程度の親子による入園前保育を検討する。

テーマ	2-2　4 学年制の充実と安定した幼稚園運営
内容	4 学年制を基盤として保育内容の充実を図るとともに、園児数、教職員配置、教育環境を整え、安定した幼稚園運営を目指す。
課題	○　4 学年制の充実 ✧　2 歳児から 5 歳児までの発達と成長のつながりを大切にし、各年齢に応じた保育内容の充実を図る。 ✧　4 学年制の実践を積み重ね、橘幼稚園らしい保育体制を整える。 ○　安定した園児数と保育体制 ✧　園児数について、利用定員数を基にした①120～135 名を基本とするモデルと、②105～120 名を基本とするモデルの二つを検討する。 ✧　園児数に応じた適正な教職員配置を行い、安定した保育体制を整える。 ✧　園児募集の状況を踏まえ、各学年の適正な定員及びクラス編成を検討する。 ○　預かり保育体制の充実 ✧　横浜市型預かり保育について、平日型から通常型への移行を検討する。 ✧　通常型への移行とあわせて、土曜日幼稚園のあり方を再検討する。

テーマ	2-3　子どもの育ちを支える教育環境の整備
内容	乳幼児の発達や保育体制の変化を踏まえ、橘学苑の豊かな自然環境を生かしながら、安全・安心な教育環境の充実を図る。また、園舎・設備についても、その状況を踏まえ計画的な整備を進める。
課題	○　乳幼児の発達に応じた保育環境の整備 ✧　2 歳児から 5 歳児まで、それぞれの発達と生活に配慮した保育室・生活空間を整える。 ✧　4 学年制や預かり保育など、保育体制の変化に応じた保育室の配置と活用方法を検討する。 ○　橘学苑の自然を生かした教育環境の充実 ✧　園庭、子どもの森、畑など、学苑の豊かな自然環境を保育に積極的に生かす。 ✧　子どもが自然の中で安心して遊び、学び、育つことのできる環境を、安全面にも配慮しながら整備する。 ○　園舎・設備の計画的な改修・整備 ✧　築 50 年以上を経過した園舎について、老朽化の状況や安全性を確認し、年度予算及び中長期的な整備計画を踏まえ、優先順位を定めながら必要な改修・整備を進める。 ✧　雨漏り等への対応として屋上の防水・改修を優先し、その後の保育室等の整備につなげる。 ✧　照明の LED 化など、園舎設備についても計画的な更新を進める。

基盤の改革　　経営目標：安定した健全経営を目指す

テーマ	3-1　財務の健全化
内容	収支均衡を実現するために、適正な生徒・園児数を確保するとともに、計画的な学費の値上げによる財源の確保と適正な人件費と経費節減に努める。
課題	○　収支の均衡 ✧　計画的に学費値上げを実施する。 ✧　高校及び幼稚園の募集人数を確実に確保するとともに、生徒・園児数に対し適正な教員数を配置する。

テーマ	3-2　働き方改革と働きがい改革
内容	教職員の安全と健康を優先し、過密労働を解消するべく、働き方改革を推進する。 納得のいく考課システムを導入し、仕事の達成感を感じられるようにする。
課題	○　定時に帰宅する職場 ✧　教職員の意識改革を推進させ、定時に業務を終了。 ✧　教職員の業務を明確化し、専門性が発揮できる体制を確立。 ○　ワークライフバランスの実現 ✧　ストレスチェックの結果を分析し、教職員の心身のリフレッシュを図り、より高品質な教育を提供する。 ○　人事考課制度の導入 ✧　定性的、定量的評価制度の確立。

テーマ	3-3　土光敏夫先生生誕 130 年記念事業
内容	令和 8 年 9 月 15 日に土光敏夫先生生誕 130 年を迎えまました。土光敏夫先生は、本学苑の創立者土光登美先生の遺志を継ぎ、第二代理事長、第四代校長に就任し、学苑の発展に尽力され、今日の学苑の礎を築かれました。先生の目ざされた教育を継承・発展させることを目的として次の三つの事業に取り組みます。
課題	○　土光敏夫先生メモリアル事業 ✧　9/12…レリーフ除幕式、生涯展内覧会、講談「土光敏夫伝」終了 ✧　9/14～9/30　土光敏夫生涯展実施 ○　安心安全なキャンパス整備事業 ✧　9/30 に土光登美記念館解体工事終了

	✧　10 月より人工芝グランド拡張工事開始予定 ○　募金事業 ✧　令和 10 年 3 月まで継続

橘学苑の歌

常見幸子　作詞
郷　伍郎　作曲

1　真澄の空の　富士の嶺
松吹く風に　霧はれて
かおりめでたき　橘の
丘に集える　わが友よ
聖の法に　導かれ
平和の精神　培わん
平和の精神　培わん

2　白百合匂う　獅子ヶ谷に
湛えて深き　二つ池
かおりゆかしき　橘の
丘に集える　わが友よ
我らの願い　高らかに
正しく強く　生きゆかん
正しく強く　生きゆかん

3　心に抱く　銀河系
久遠の星の　輝きに
かおり気高き　橘の
丘に集える　わが友よ
真理の光り　求めつつ
いざ諸共に　学ばなん
いざ諸共に　学ばなん

学校法人橘学苑

橘学苑中学校　橘学苑高等学校　橘幼稚園

〒230-0073　神奈川県横浜市鶴見区獅子ヶ谷 1-10-35
TEL　045(581)0063　FAX　045(584)8643　URL　https://www.tachibana.ac.jp

© 2026 学校法人橘学苑